

史 備陽史探訪の会



福山ブランド認定

6月・7月・8月の行事日程一覧

6月 2日(日)【バス例会】(要申込) 瀬戸内海を周回し四国の近世城郭を巡る
6月 22日(土)【分布調査】(要申込) 中世石造物分布調査(加茂町方面)
6月 28日(金)【入門講座】(要申込) 古文書入門講座
7月 20日(土)【歴史講演会】 県立歴史博物館共催 備後国衆宮氏について
7月 22日(月)【分布調査】(要申込) 中世石造物分布調査(山野町方面)
7月 26日(金)【入門講座】(要申込) 古文書入門講座
8月 24日(土)【分布調査】(要申込) 中世石造物分布調査(駅家町方面)
8月 30日(金)【入門講座】(要申込) 古文書入門講座
9月 14日(土)【歴史講演会】 県立歴史博物館共催 因島村上氏と守護権力
9月 14日(土)【月見の会・懇親会】(要申込) 歴史講演会終了後 御湯殿に移動して行きます。

予告

2024(令和6) 行事案内 6月号



備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。
(会則第1章第2条より)

行事参加の お申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。

◎公式サイトに参加申込フォーム
[<https://bingo-history.net>]



◎事務局へメール
[info@bingo-history.net]
◎事務局へ電話
[070-1074-9617]

[備陽史探訪の会事務局]
〒720-0824
広島県福山市多治米町 5-19-7

各部会学習会のスケジュールは5～6ページを参照ください。

備陽史探訪の会の情報をすばやく届ける
お知らせ配信サービス始めました。

詳しくは4ページに

<行事参加に当たって>

ぶら探訪や山城現地学習など、現地での行事では不整地や傾斜地を歩くことがあります。参加に当たっては、必ず滑り止めのしっかりした靴での参加をお願いします。

バス例会

6月2日(日)

「瀬戸内海を周回し四国の近世城郭を巡る」

～今治城・丸亀城・高松城～

福山から瀬戸内海を挟んで対岸に位置する3つの近世城郭を福山城と比較しながら巡っていきます。瀬戸内海をしまなみ海道→瀬戸大橋で反時計回りに周遊します。

- 【集合時間】 午前7時50分 ……帰着予定 午後6時30分頃
- 【集合・解散場所】 **JR 福山駅南 サンステ南 中・小型バス乗降場**
- 【講師】 田中伸治（副会長・近世近代史部会 幹事）
- 【募集人員】 47名（最少催行人数 27名、催行確定日 5月26日）
- 【参加費】 会員 8,000円 一般 8,500円（参加費には入館料を含む）
※参加人数次第で安くなる可能性もあります。

**要
申込**

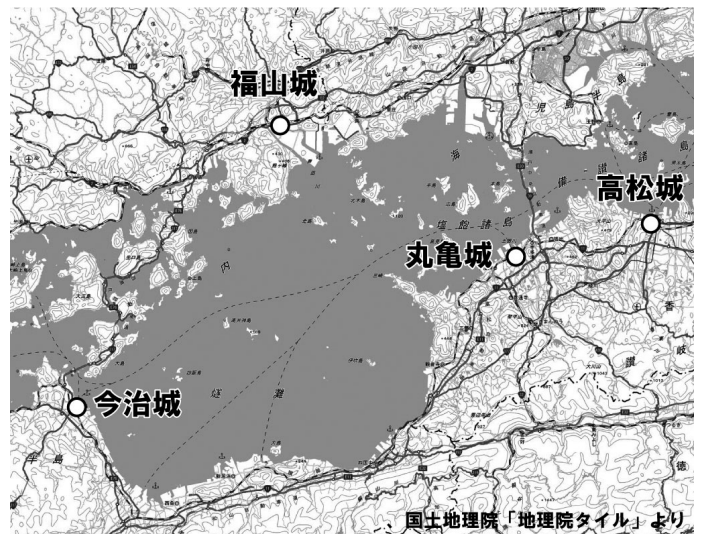
雨天決行

【主な見学地】

今治城（愛媛県今治市）、丸亀城（香川県丸亀市）、高松城（香川県高松市）

- 【備考】 昼食は付いていませんので各自で弁当・飲み物などご用意願います。（ただし、昼食会場は石鎚山SA（上り）ですので、現地で飲食・購入も可能です。）
雨天決行、歩き易い服装・靴で。
基本的には平地を歩きますが、丸亀城は標高60m程度の丘を登ります。

※内容の変更や追加、中止や延期の場合、会のホームページでお知らせします。また、担当から確認の連絡がある場合があります。申込み時に連絡先をお願いします。



6月22日(土)

中世石造物調査

6月は、加茂町を調査します。事前の所在確認や調査カード作成をお願いします。

- 【集合・解散場所】 午後1時半 JR 福塩線 万能倉駅北口
- 【講師】 篠原芳秀（副会長）
- 【その他】 雨天の場合は中止し、後日実施。
実施可能かどうか、微妙な天気の際は、事務局まで電話での確認をお願いします。

雨天中止

**要
申込**

※なお、次回以降の予定は次の通りです。

7月22日(月) 山野町方面 【集合】午後1時半 山野交流館

8月24日(土) 駅家町方面 【集合】午後1時半 福山市役所 北部支所入り口付近

7月20日(土) 備陽史探訪の会 歴史講演会

〔共催〕 ふうやま草戸千軒ミュージアム

演題 備後国衆宮氏について

講師 田口義之 (備陽史探訪の会会長)

備後の中世史に大きな足跡を残した宮氏、戦国時代、毛利氏と備後の覇権を争ったことはよく知られているが、主要な家筋が戦国末期までに滅亡したため、不明な点が多い。今回は、「備後の謎の武将」である宮氏について、戦国期に特有な存在である「国衆」として捉えるとならぬか。今までの通説を一旦取り払い、山内氏や和智氏と並ぶ有力国衆であった宮氏に絞って解説してみたい。

- 【期日・時間】 7月20日(土) 午後2時~3時半
【会場】 ふうやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館) 地下講堂
【参加費】 無料
【募集人員】 200名(先着) 申込み不要。
【問合せ先】 備陽史探訪の会(070-1074-9617)

9月14日(土) 備陽史探訪の会 歴史講演会

〔共催〕 ふうやま草戸千軒ミュージアム

演題 因島村上氏と守護権力

講師 川岡勉先生(愛媛大学名誉教授)

- 【期日・時間】 9月14日(土) 午後2時~3時半
【会場】 ふうやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館) 地下講堂
【参加費】 無料
【募集人員】 200名(先着) 申込み不要。
【問合せ先】 備陽史探訪の会(070-1074-9617)



月見の会(懇親会)

講演会終了後、御湯殿(福山城本丸内)に移動して実施します。

今年は納涼会の代わりに月見の会を開催します。「秋 高樓の月の宴」を楽しみましょう。

- 【会場】 御湯殿(福山城本丸内)
【時間】 午後4時30分頃から
【会費】 3,000円(予定)
【備考】 十三夜です。月齢は11.4、いて座と山羊座の境辺りで、冥王星が月の上1.5度のところにあります。(冥王星は肉眼では見えません、心眼で見てください。)



お知らせ配信サービスのご案内

備陽史探訪の会は、より迅速で重要な情報を皆様にお届けするため、新しい配信サービスを始めます。

例会の最新情報や、行事実施内容の変更など、会員の皆様に役立つ情報をいち早くお知らせします。

ぜひこの機会に、お知らせ配信サービスにご登録ください。

ご登録は以下のリンクから簡単に行えます。

<https://bingo-history.net/magazine>

QR コード



「備陽史研究」原稿募集中

「備陽史研究」は備陽史探訪の会紀要です。論文はもとより論考や研究ノート、調査報告、また、新たに発見した史料紹介や、未解読の古文書解読など、郷土史に関する原稿を会員から広く募集しています。郷土史発展のために、奮ってご応募ください。1 ページ目に記載の事務局へ送付ください。

各部会主催の講座、学習会などは参加費 100 円を頂いております。
別途費用がかかる場合もあります。(資料コピー代など)
よろしくご協力ください。



古代史部会

大人の博物館教室 —テーマ史で学ぶ「備後」の歴史—

広島県立歴史博物館の「常設展示」を中心に、毎回1つのテーマで見学・学習します。7月から「教室」の新たなシリーズを始めます。博物館の展示を用いて、古墳文化について話をしたいと思っています。

6月22日(土) 縄文時代研究最前線

<新シリーズ> 古代吉備と古墳文化

7月27日(土) (その1) 古墳の名前と伝説

8月24日(土) (その2) 古墳の形

【時間】 午前10時30分～12時
【集合・解散場所】 広島県立歴史博物館の入口付近
【講師】 網本善光(古代史部会 部会長)
【参加費】 会員・一般共 100円
【その他】 別途入館料は自己負担となります。

古文書部会

古文書解読会

古文書の整理・解読を行っています。現在は「内田博文氏所蔵文書」「井上家文書」を中心に解読中。「内田博文氏所蔵文書」は松永で塩田を営んでいた家にまつわる史料、「井上家文書」は品治郡近田村(現・福山市駅家町近田)で組頭を務めた家にまつわる史料です。

・6月19日(水) ・7月17日(水) ・8月21日(水)

【会場・時間】 市民参画センター 午後7時～9時
【講師】 小林悠一(古文書部会 部会長)
【参加費】 100円 テキスト代必要な場合は実費



古文書入門講座

未経験でも大丈夫。崩し字や古文書の読み方をイチから学習する講座です。

3月から新テキスト「神島町置表旧記」を解読しています。新たに始めるチャンスです。

・6月28日(金) ・7月26日(金) ・8月30日(金)

【会場・時間】 市民参画センター 午後7時～9時
【講師】 小林悠一(古文書部会 部会長)
【定員・参加費】 20名 100円 一般の方も歓迎です。



【備考】 上記解読会・入門講座どちらも、初めて参加を希望される方は、公式サイトに参加申込フォームから申込むか、または事務局まで申し出てください。(メール・電話) 継続して参加されている方は申込み不要です。

日付変更

中世史部会（中世を読む）

中世を読む

6月15日（土）（401回） 福山の中世城館 10選

【講師】 杉本憲宏（中世史部会 部会長）
【時間】 午後2時～午後4時頃
【場所】 福山市民参画センター 2F セミナールーム
【定員・参加費】 30名 100円

7月と8月は休講です。

近世近代史部会

近世福山の歴史を学ぶ —画像でも楽しむ我がふるさと—

6月8日（土） 休講

7月13日（土） 福山城二代藩主 水野勝俊（第109回）

【講師】 藤田人己（近世近代史部会）
【会場・時間】 市民参画センター 午前9時45分～11時45分

福山城二代藩主水野勝俊は主に東部の新田開発を行い、大干拓時代を形成し、福山の地形基盤を作った人と言えよう。しかし、父勝成のようなカリスマ性もなく目立たない存在であったが、今回はスポットライトを当てて話します。

8月10日（土） 福山藩の年貢制度（第110回）

—商品作物の徴税法—

【講師】 高木康彦（近世近代史部会 幹事）
【会場・時間】 市民参画センター 午前9時45分～11時45分

5月度講座では上記演題の予定でしたが、年貢制度一般について残りがあったため、急遽残りを取り上げました。従って、8月の講座は5月予定だった上記演題を取り上げることといたします。石高制で成り立っていた武家社会では阿部藩も御多分に漏れず、貨幣経済社会の進展に伴い、藩財政の逼迫度が増してきました。一方、百姓制は藎草や木綿など収益性の高い商品作物の栽培が普及し、経済的ゆとりが出てきました。そのため阿部藩ではこれら商品作物に対し、阿部藩政独自の年貢制度を考案しました。今回はその徴税法を解説いたします。今回を以って年貢制度の最終回となります。

【お知らせ】 —保存版「福山藩の年貢制度」進呈—

当日、本講座へ御参加された方に限り、今まで取り上げてきた年貢制度の資料を一括し、製本状に綴った保存版を進呈致します。文字数七万字以上の厚版です。